AA19980067J1

'98.10.27. 毎日

センター試験 見直し諮問へ

文部省、中教審に

文部省は26日、大学入試センター試験の見直しなど大学入試改革を中央教育審議会（根本二郎会長）に諮問することを決めた。来月初めに「高校教育と大学教育の接続のあり方」を主題に諮問するが、検討項目の中に入試改革を含める。審議は1年以上をかけ、新学習指導要領が導入される2002年度以降の実施をめどに結論を出す方針だ。

大学入試はすべての国公立が参加し、私立も参加可能な大学入試センター試験と、各大学の個別試験（2次試験）を基本に行われている。多くの場合、受験生は志望大学・学部が指定する科目をセンター試験で受け、その得点を参考に〝合格圏〟の大学に最終的に出願、個別試験を受ける。

諮問は具体的な改革案例を示さず行われるが、受験生の大半が出願するセンター試験については①幅広い学力の確保策②わずかな点差で志望校を変更する実態の改善策③秋季入学増加に合わせたセンター試験の年2回実施――などが検討されるとみられる。

小、中、高校で学習内容が大幅削減されることに伴い、高卒の学力が大学教育と合わなくなる問題や、大学側が受験志望者に対し高校の履修科目を指定する制度なども検討課題となりそうだ。【岡崎 康次】